

鎌倉地区産業廃棄物対策協議会

かいほう

NO.31



鎌倉大仏（平成28年1月から3月まで、ご尊像の保存・修理作業が行われました（写真提供：鎌倉大仏殿高德院））

目次

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| ○巻頭言…………… 1 | ○研修見学会報告…………… 6～7 |
| ○神奈川県からのお知らせ…………… 2～3 | ○事業報告…………… 8 |
| ○鎌倉市からのお知らせ…………… 4～5 | ○編集後記…………… 9 |

巻 頭 言

「一年を振り返って」

鎌倉地区産業廃棄物対策協議会

会 長 田 中 清



会員の皆様には、日頃の協議会活動に対し、ご理解とご協力を頂きまして、誠に感謝申し上げます。早いもので、昨年4月から本協議会の会長を務めさせて頂き、一年が経ちました。

この一年間を振り返りますと、産業廃棄物に係わる大きな事件として、業界は違いますが、今年1月に大型カレーチェーン店の冷凍カツが、委託した廃棄物処理業者により、横流しされる事件が発覚し、大きな社会問題となり、消費者に大きな不安を与えました。

改めて企業で働く者として、社会に与える影響と責任を考えさせられた事件でありました。

一方、私たちが事業活動を行っている、鎌倉市のごみ処理においては、企業等から出される事業系一般廃棄物への産業廃棄物及び資源物の混入が、一般廃棄物全体の4分の1を占めております。

各企業等で分別は推進されているものの、まだまだ道半ばの状況であり、地道な活動となりますが、更なる分別の周知徹底が必要となります。当協議会としても、会員各社様と情報交換を通じて、平成28年度も事業活動で発生する廃棄物の適正な処分について、考えていきたいと思っておりますので、状況のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

その様な中、平成27年度の研修見学会は、今年2月に千葉県のかかずきクリーンシステム様と㈱ハイパーサイクルシステムズ様を見学させて頂きました。

㈱かずきクリーンシステム様は、地域で発生する一般廃棄物を、千葉県の4市（木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市）と民間企業が協力して処分する、全国で初めての手法により、地域の皆様に理解を得ながら、適正処理を行っている広域廃棄物処理施設です。特にガス化溶融炉（1800℃）処理により、スラグとメタルに再生し、最終処分量の大幅削減に貢献しています。

一方、㈱ハイパーサイクルシステムズ様は、家電品のリサイクルプラントで、分解、破碎、選別を一環で行っています。特に冷蔵庫をそのまま粉碎できる防音に配慮した破碎機と、高純度なプラスチックの取り出しにより、素材としての再利用を高めています。

どちらの処理施設も、施設内がきれいに整理され、従業員への教育もよくされており、品質の高い施設であると感じました。

28年度も引き続き、出来るだけ多くの情報を会員各社様にご提供できるよう努めてまいりますので、当協議会へのご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、会員各社様の益々のご発展を祈念申し上げ、会誌の挨拶とさせていただきます。

神奈川県からのお知らせ

神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター環境部環境課

ポリ塩化ビフェニル廃棄物の期限内処理について

1 PCBについて

ポリ塩化ビフェニル (PCB) は水にきわめて溶けにくく、沸点が高いなどの性質を有する主に油状の物質です。また、熱で分解しにくい、不燃性、電気絶縁性が高いなど、化学的にも安定していることから、トランス (変圧器) やコンデンサ (蓄電器) 等の電気機器の絶縁油、熱媒体など様々な用途で使用されていました。

しかし、昭和43年に発生した「カネミ油症事件」を契機として、昭和49年から製造、輸入、新たな使用が原則禁止されています。

～カネミ油症事件～

昭和43年、西日本を中心に、カネミ倉庫社が製造した米ぬか油の製造過程で、熱媒体として使用されていた PCB が、管から漏れて食用油に混入し、その油を食べた人やそのお子さんに、油症と呼ばれる健康被害を引き起こしたものです。具体的な症状としては、初期には全身の倦怠感、食欲不振、体重減少といった全身症状、視力の低下の症状が起こり、引き続いて塩素ニキビと呼ばれる皮膚の症状や、色素沈着、関節痛、頭痛などの症状が出ました。特に、皮膚に色素が沈着した黒い赤ちゃんは社会に大きな衝撃を与えています。認定患者数は、西日本を中心に、平成27年3月31日現在の累計で、2,276名となっています。

PCB 使用の代表的な電気機器



高圧トランス



高圧コンデンサ



安定器

このほか、低圧トランス、低圧コンデンサ、リアクトル、サージアブソーバー、計器用変成器等でも使用されています。

2 PCB 廃棄物保管事業者の責務等

○保管及び処分状況の届出

PCB 廃棄物を保管している事業者は、PCB 特別措置法に基づき、毎年度、PCB 廃棄物の保管及び処分の状況について神奈川県知事 (横浜、川崎、相模原及び横須賀市にあっては各市長) に届け出なければなりません。

○期間内の適正処理

保管事業者は、同法に基づき、処理期限 (平成39年3月31日) までに PCB 廃棄物を自ら処分するか、若しくは処分を処理業者に委託しなければなりません。

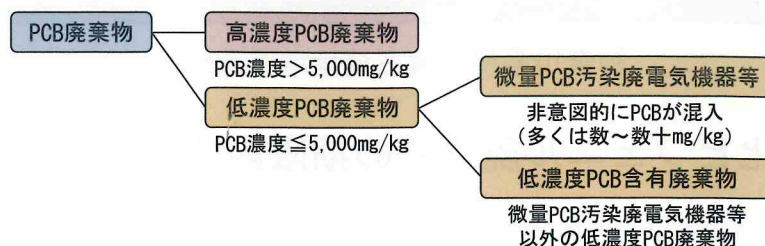
○PCB 廃棄物の適正な保管

PCB 廃棄物の保管に当たっては、廃棄物処理法に基づく「特別管理産業廃棄物保管基準」に従わなければなりません。

○その他、PCB 廃棄物には、譲渡し及び譲受けの制限や承継の手続等があります。

3 PCB 廃棄物の分類

PCB 廃棄物は、PCB 濃度により、高濃度 PCB 廃棄物と低濃度 PCB 廃棄物に分類されます。



4 PCB 廃棄物の処理先及び処理期限

高濃度 PCB 廃棄物は、中間貯蔵・環境安全事業 (株) (JESCO) で処理を行っています。

低濃度 PCB 廃棄物については、環境大臣が認定する無害化処理認定施設及び都道府県知事等が許可する施設で処理を行っています。

また、現在使用中の PCB 使用機器についても、処理先及び処理期限は同じとなっておりますので、ご注意ください。

表 PCB 廃棄物の処理先及び処理期限

廃棄物の種類		処理先	処理期限
高濃度 PCB 廃棄物	高圧トランス・コンデンサ等、PCB 油類、安定器等・汚染物 (小型電気機器の一部) (※1)	JESCO 東京 PCB 処理事業所	平成35年 3月31日
	一部のコンデンサ	JESCO 北九州 PCB 処理事業所	平成31年 3月31日
	安定器等・汚染物 (JESCO 東京 PCB 処理事業所で処理するものを除く)	JESCO 北海道 PCB 処理事業所	平成36年 3月31日
低濃度 PCB 廃棄物		無害化処理認定施設等 (※2)	平成39年 3月31日

※1：電気機器が 3 kg 未満の場合は、JESCO 北海道 PCB 処理事業所での処理になります。なお、安定器及びネオトランスは重量によらず、JESCO 北海道 PCB 処理事業所での処理になります。詳しくは、JESCO (03-5765-1935) にご確認ください。

※2：無害化処理認定施設等については、環境省ホームページをご覧ください。
(<http://www.env.go.jp/recycle/poly/facilities.html>)

5 JESCO への処理申込登録と処理状況

JESCO 東京 PCB 処理事業所での本県分の処理は、平成27年度から本格化しています。JESCO 北海道処理事業所での本県分の処理は、平成29年度から処理される見込みです。処理に当たっては、事前に処理申込登録が必要になりますので、必ず登録してください。詳しくは、JESCO ホームページ (http://www.jesconet.co.jp/customer/discount_02.html) をご覧ください。

また、無害化処理認定施設等での処理は、随時受け付けており、登録不要です。詳しくは、各施設設置業者にお問い合わせください。

6 掘り起こし調査

国の調査によると、PCB 廃棄物の未届事業者が存在していることが判明しています。また、PCB 使用機器の使用事業者は届出義務がないため、実態が把握できていないことから、期限内での処理を完了させるため、電気事業法に基づく自家用電気工作物設置者に対して、アンケート調査票を送付し、調査結果に基づき PCB 廃棄物の届出を行っていない者及び PCB 使用機器の使用者を掘り起こす調査を実施しています (横浜、川崎、相模原及び横須賀市にあっては各市で実施されます)。

詳しくは、県ホームページ (<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f533166/>) をご覧ください。

■ 廃プラスチック

廃プラスチックは、材質の固さや用途に関わらず、すべて産業廃棄物です。
汚れた状態でも、全て産業廃棄物として処理してください。

弁当容器、プラ製容器



容器類



ペットボトル



※契約によってペットボトルを他の廃プラスチックと分けて出す場合があります

スプーン等、プラ製コップ



菓子袋などの包装紙



保冷材などの発泡スチロール



※契約によって発泡スチロールを他の廃プラスチックと分けて出す場合があります

ビニール・ラップ類



梱包材



プラスチック製品（硬質）



※契約によってプラスチック製品を他の廃プラスチックと分けて出す場合があります

注意！ お弁当容器の中身を分けてください！



中身が入っているお弁当などは、中身と容器を分けてください。中身は燃やすごみ、容器は洗って廃プラスチックとして出してください。

★なるべく食品を捨てることのないよう心掛けましょう



お問合せ先：鎌倉市環境部資源循環課（平成 28 年 4 月 1 日より、課名を「ごみ減量対策課」に変更します）
〒248-8686 鎌倉市御成町 18-10 TEL:61-3396（直通）FAX:23-8700
<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kurashi/gomi/index.html>

研修見学会報告

株式会社かずさクリーンシステムズ、株式会社ハイパーサイクルシステムズ 見学会

■研修日 平成28年2月17日

■参加者 14名

■共催 鎌倉商工会議所 工業部会

今回の廃棄物対策協議会と鎌倉商工会議所工業部会との合同研修見学会は、千葉県君津地区広域廃棄物処理施設 株式会社かずさクリーンシステムズと同縣市川市に立地する日本初の家電リサイクル工場 株式会社ハイパーサイクルシステムズを見学しました。

向春を思わせる青空の下、大船駅を出発し、アクアラインを渡り、まず かずさクリーンセンターに向かいました。はじめに所長から事業の概要と処理設備が一般廃棄物に対する行政課題を解決するため君津周辺4市及び地域企業3社が共同出資して出来た第三セクター施設であるとの説明を戴きました。共同出資する企業の技術協力もあり順調に稼働している様子が窺え、ごみ事業の第三セクターとして非常に上手く運用されていました。工場の見学では、廃棄物受入のプラットホームを見学したあと、メイン設備であるガス化溶融炉の設備を見学しました。本設備は、ダイオキシン類対策に優れた直接溶融システムを採用し、溶融物（スラグ・メタル）は全量再資源化して、最終処分量を大幅に低減させると共に、排ガスについても熱回収や排ガス処理施設で煤煙・煤塵を規制値以下に抑える設備です。

工場見学のあとの質疑応答では、事業系廃棄物の受入量や、操業に携わっている人員、集塵灰の処理の方法などといった活発な質疑が交わされました。全体的に非常に近代的できれいな設備であるなどの印象を持ちました。

次に、一路東関東自動車道を北上し、船橋海浜公園に隣接する株式会社ハイパーサイクルシステムズに向かいました。

同社は、家電業界初の本格的リサイクルプラントで三菱電機社をはじめ日本を代表す



る家電メーカーが出資して設立された環境配慮型リサイクルプラントです。はじめに工場の概要の説明を受け、冷蔵庫やエアコン、プリンターなど、どの様に再生可能な資源に分別されるかの説明を戴きました。説明用のインターホンを装着し、工場見学へと進み、工場の中には、安全や工程管理のプラカードや表示が多く、従業員の安全意識や品質管理意識が高いことが窺えました。冷蔵庫を丸ごとクラッシャーにかけ粉砕する様子は、誠にダイナミックでした。昨年改正された「(略称)フロン類の使用の合理化及び管理の適正化」に関する法律の対応としてフロンの回収・処理も適切に行われていました。また、都市鉱山といわれる電子回路からのレアメタルの回収も行われていました。コピー機などの部品回収には、人力で行われるため、以前は一人で作業していたところを、流れ作業に変えるなどの工夫がされていました。機密上重要な情報機器類に関しては、指紋認証の特別室で扱われているなどセキュリティーも万全でした。

工場見学後の質疑では、レアメタルの主な貴金属類、作業員の人員、防音対策など多数の質疑応答が交されました。

今回は、廃棄物の最新処理施設と家電リサイクルの最先端処理を見学でき誠に有意義な研修でありました。ごみ問題や事業系廃棄物の処理に関して官民企業が協力して取り組んでいけば環境にやさしいより良いシステムが出来ることを痛感しました。この様な研修を重ね廃棄物削減に関して理解と深耕を深めていきたいと思えます。

デンカ株式会社大船工場

田島 英信



事業報告

平成27年4月13日（月）

◎収支決算監査（午後）

会 場 事務局持ち回り（㈱中川電機製作所、ミハル通信㈱）

平成27年4月21日（火）

◎正・副会長会議（午後3時30分～）

◎理事会（午後4時15分～）

会 場 鎌倉商工会議所

平成27年5月28日（木）

◎第36回定期総会（午後4時～）

◎「鎌倉市のごみ行政について」講演会（午後4時30分～）

会 場 鎌倉商工会議所

◎交流会（午後5時10分～）

会 場 銀座アスター鎌倉賓館

平成27年8月3日（月）

◎視察見学会

視察先 J E S C O北海道PCB処理事業所（北海道室蘭市）

平成27年12月10日（木）

◎正・副会長会議（午後3時～）

◎理事会（午後3時30分～）

◎広報部会（午後4時～）

会 場 鎌倉商工会議所

平成28年2月17日（水）

◎研修見学会

視察先 ㈱かずさクリーンシステム（千葉県木更津市）

㈱ハイパーサイクルシステムズ（千葉県市川市）

◎交流会（研修見学会終了後）

会 場 せんざん大船店（鎌倉市）

平成28年3月7日（月）

◎かながわりサイクル製品認定制度パンフレット（会員事業所へ周知）

平成28年3月31日（木）

◎会員名簿作成（会員事業所へ配布）

編 集 後 記

この1年を振り返りますと、喜ばしい内容が多かった半面、考えさせられる出来事もありました。

交通分野では、東京～金沢間を2時間28分で結ぶ北陸新幹線が開業した事で1時間19分もの時間短縮が可能となり、上野東京ラインも開業、宇都宮・高崎線が東海道線と直通し、利便性が非常に向上しました。

又、昨年に引続き、軍艦島など23か所が「明治日本の産業革命遺産」として世界遺産に登録が決定したことも記憶に新しいところです。

しかし、残念ながら今年に入って、食品廃棄物が産業廃棄物処理業者によって横流しされるという出来事がありました。廃棄物処理法改正によって、排出者責任も厳しく問われる今、今回のケースは排出者対応が早くて確実でしたが、当対策協議会の中でも適正な廃棄物処理に関する認識を再考させられるものでした。

鎌倉市では、昨年3月で今泉クリーンセンター（焼却実績1万t）の稼働を終了し、名越クリーンセンター1ヶ所となり、今後の発生廃棄物処理に対する施策が急務となっております。市ではごみ減量化対策として、事業系ごみ混合物の検査や、家庭系ごみ有料化を継続するとともに、積極的に事業系ごみの削減と手数料適正化、再資源化などの対応策を積極的にとっていきます。

昨年環境省が公表した平成25年度一般廃棄物の排出及び処理状況等調査によると、鎌倉市のリサイクル率は48.4%であり、5年連続で全国第2位となりました。全国平均の20.6%に対しても、非常に高いリサイクル率であり、これもひとえに市民の皆様のご理解とご協力の結果です。

当協議会もこれに負けないよう結束を一層固め、廃棄物処理法をはじめとするコンプライアンス順守に注力していくこと、並びに、鎌倉市のごみ減量施策に一致協力してまいりたいと考えております。

広報部会では、皆様に有効な情報交換の場として利用して頂けるように努力してまいりますので、これからもご支援宜しくお願いいたします。

又、ご質問やご要望、ご意見の投稿もお待ちしておりますので、是非お寄せいただけますよう、重ねてお願いいたします。

〈 広 報 部 会 〉

中外製薬(株)鎌倉研究所

(株)鎌倉ハム富岡商会

シンロイヒ(株)大船工場

デンカ(株)大船工場

(株)常盤製作所

三菱電機(株)情報技術総合研究所

中嶋 芳則

前田 健一

我妻 英信

田島 英信

加藤 清和

田中 清